

クリニカル・インディケータ－（臨床指標）

クリニカル・インディケータ－（Clinical Indicator）とは、病院の様々な機能を適切な指標を用いて表したものであり、これを分析し、改善することにより医療サービスの質の向上を図ることを目的とするものです。

平成22年度からは、厚生労働省において、国民の関心の高い特定の医療分野について、医療の質の評価・公表を実施し、その結果を踏まえた、分析・改善策の検討を行うことで、医療の質の向上及び質の情報の公表を推進することを目的とする「医療の質の評価・公表等推進事業」が開始されています。

当院では、平成23年度から指標の収集を開始し、6分野24項目の臨床指標を定め、収集し、ここに公表します。臨床指標の公表の取組は、厚生労働省における取組や、他の病院において公表されている臨床指標を参考として、指標の収集・公表が適当な項目を精査するとともに、この指標の公表、改善を繰り返すことにより、医療の質の改善に努めてまいります。

I 病院全体

- 1 主要疾患別患者数
- 2 病床利用率
- 3 平均在院日数
- 4 在宅復帰率
- 5 年代内訳
- 6 入院件数
- 7 退院件数
- 8 死亡退院件数
- 9 死亡退院率
- 10 褥瘡院内発生率
- 11 新規感染症検出報告
- 12 救急受け入れ件数
- 13 救急要請件数

III 診療プロセス

- 1 各種検査件数
- 2 他医療機関診察依頼の割合

IV 医療安全

- 1 インシデント件数
- 2 インシデント レベル別件数
- 3 インシデント 内容別件数

V 薬剤

- 1 薬剤管理指導件数
- 2 麻薬管理指導件数

VI 経営・患者満足

- 1 看護師の退職率
- 2 外来待ち時間

II 予防医療

- 1 職員健診受診率
- 2 職員インフルエンザ予防接種実施率

I 病院全体

1 主要疾患別患者数

主要疾患別患者数は、退院された患者の疾患（医師サマリー主病名）を国際疾病分類(ICD)に分類し、統計化したものです。 当院がどのような医療を行っているのかを最も端的に表しており、経年変化を注視することにより地域医療に果たす役割を分析する指標となります。

医療療養病棟疾病分類（平成 24 年度）

疾病分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
I 感染症および寄生虫症 A00-B99					1				1		1		3
II 新生物 C00-D48	4	2	6	6	3	3	5	5	6	1	1	4	46
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89													0
IV 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	1						1						2
V 精神および行動の障害 F00-F99													0
VI 神経系の疾患 G00-G99	4	4	1	2	2	2	3	1	1		1	1	22
VII 眼および付属器の疾患 H00-H59													0
VIII 耳および乳様突起の疾患 H60-H95													0
IX 循環器系の疾患 I00-I99	2	2	9	2	4	7	7	3	3	5	6	2	52
X 呼吸器系の疾患 J00-J99	3	2	1	1	3	3	4	2	2	5	1		27
11 消化器系の疾患 K00-K93	3	3	1			1	5	3	1	3		3	23
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99						1							1
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99		1		1			1		1				4
14 腎尿路性器系の疾患 N00-N99		1						1	1	1		3	7
15 妊娠、分娩および産じょく<褥> O00-O99													0
16 周産期に発生した病態 P00-P96													0
17 先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99													0
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの R00-R99					3								3
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	1			2	1	1	1		1	2	1		10
20 傷病および死亡の外因 V01-Y98		1											1
21 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用 Z00-Z99													0
合計	18	16	18	14	17	18	27	15	17	17	11	13	201

医療療養病棟疾病分類（平成 23 年度）

疾病分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
I 感染症および寄生虫症 A00-B99		1							2		7		10
II 新生物 C00-D48	6	3	4	5	2	2	3	1				4	30
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89								1					1
IV 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	1		1						1	1	1		5
V 精神および行動の障害 F00-F99					1								1
VI 神経系の疾患 G00-G99	1			1	1		4	1		1			9
VII 眼および付属器の疾患 H00-H59													0
VIII 耳および乳様突起の疾患 H60-H95													0
IX 循環器系の疾患 I00-I99	3	2	6	4	1	3	3	1	2	3	2	3	33
X 呼吸器系の疾患 J00-J99	2	2	1	3	3	3	4	2	1	7	1	1	30
11 消化器系の疾患 K00-K93	1	1		1			2		3	1	3		12
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99		1											1
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99			1						1				2
14 腎尿路性器系の疾患 N00-N99	1				1				1				3
15 妊娠、分娩および産じょく<褥> O00-O99													0
16 周産期に発生した病態 P00-P96													0
17 先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99													0
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの R00-R99							1	1	1	1			4
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	2	3	2	2			2	1	1	1	1	1	16
20 傷病および死亡の外因 V01-Y98													0
21 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用 Z00-Z99													0
合計	17	13	15	16	9	9	19	7	13	15	15	9	157

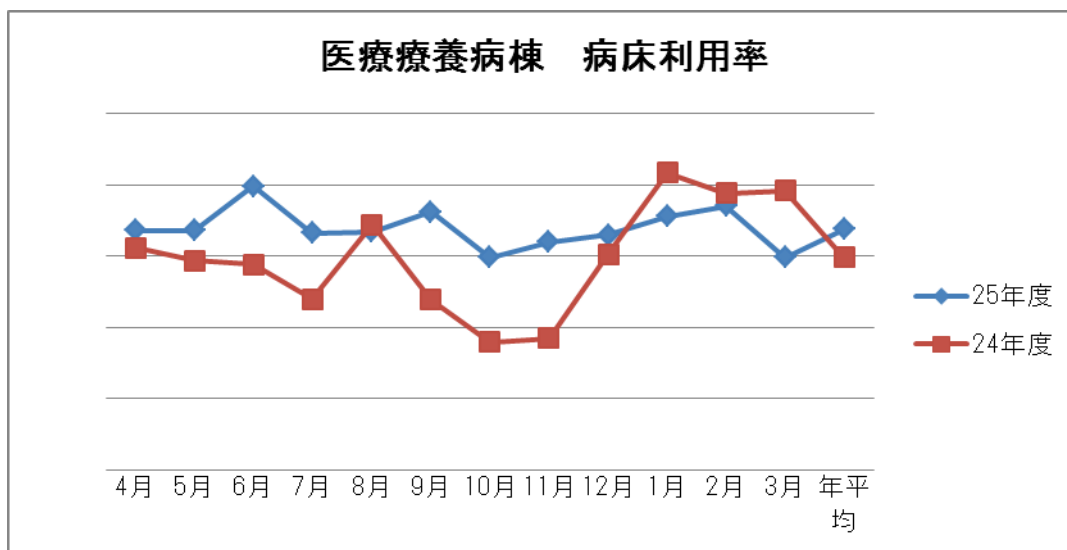
回復期病棟疾病分類（平成 24 年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
疾病分類													0
Ⅱ 新生物 C00-D48		2							1				3
Ⅲ 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89													0
Ⅳ 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90													0
Ⅴ 精神および行動の障害 F00-F99													0
Ⅵ 神経系の疾患 G00-G99							1						1
Ⅶ 眼および付属器の疾患 H00-H59													0
Ⅷ 耳および乳様突起の疾患 H60-H95													0
Ⅸ 循環器系の疾患 I00-I99	5	9	2	5	3	6	6	3	7	5	5	3	59
X 呼吸器系の疾患 J00-J99											1	1	2
11 消化器系の疾患 K00-K93	1	1	1		1								4
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99													0
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99				4	1	2		2	1	1	1	1	13
14 腎尿路性器系の疾患 N00-N99					1								1
15 妊娠、分娩および産じょく<褥> O00-O99													0
16 周産期に発生した病態 P00-P96													0
17 先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99													0
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの R00-R99		1											1
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	5	4	6	4	3	5	7	4	5	5	7	5	60
20 傷病および死亡の外因 V01-Y98													0
21 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用 Z00-Z99							1						1
合計	17	13	15	16	9	9	19	7	13	15	15	9	157

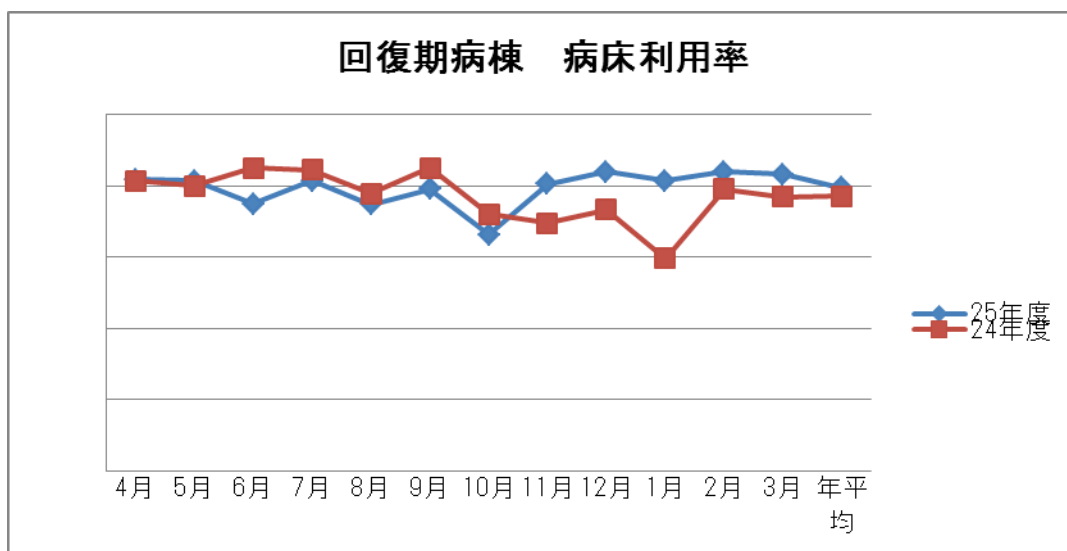
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
疾病分類													0
Ⅱ 新生物 C00-D48	1	1	1				1						4
Ⅲ 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89													0
Ⅳ 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90									1				1
Ⅴ 精神および行動の障害 F00-F99													0
Ⅵ 神経系の疾患 G00-G99		1	1							1			3
Ⅶ 眼および付属器の疾患 H00-H59													0
Ⅷ 耳および乳様突起の疾患 H60-H95													0
Ⅸ 循環器系の疾患 I00-I99	3	7	8	10	7	3	2	4	5	2	5	4	60
X 呼吸器系の疾患 J00-J99													0
11 消化器系の疾患 K00-K93									1				1
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99													0
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	1		2				1				1	1	6
14 腎尿路性器系の疾患 N00-N99							1						1
15 妊娠、分娩および産じょく<褥> O00-O99													0
16 周産期に発生した病態 P00-P96													0
17 先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99													0
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの R00-R99													0
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	7	1	2	4	3	8	7	4	3	7	4	5	55
20 傷病および死亡の外因 V01-Y98													0
21 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用 Z00-Z99												1	1
合計	12	10	14	14	10	11	12	8	10	10	10	11	132

入院患者に対する病床（ベッド）数の割合を示したもので、病床の稼働状況がわかります。病床利用率が低い場合、経営的な問題はもちろんです、病院の受け入れ体制が整っていないことや、地域のニーズに則していないことなども考えられますので、早急な改善が必要となる場合があります。

病院の規模や機能、地域の特性、病床の種類などによって数字は変わってきますが、一般的には94%前後が病床利用率の理想値と言われています。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
25年度	96.8%	96.8%	99.9%	96.6%	96.7%	98.1%	94.9%	96.0%	96.5%	97.8%	98.5%	94.9%	96.9%
24年度	95.6%	94.7%	94.4%	92.0%	97.2%	91.9%	89.0%	89.2%	95.1%	100.8%	99.4%	99.6%	94.9%

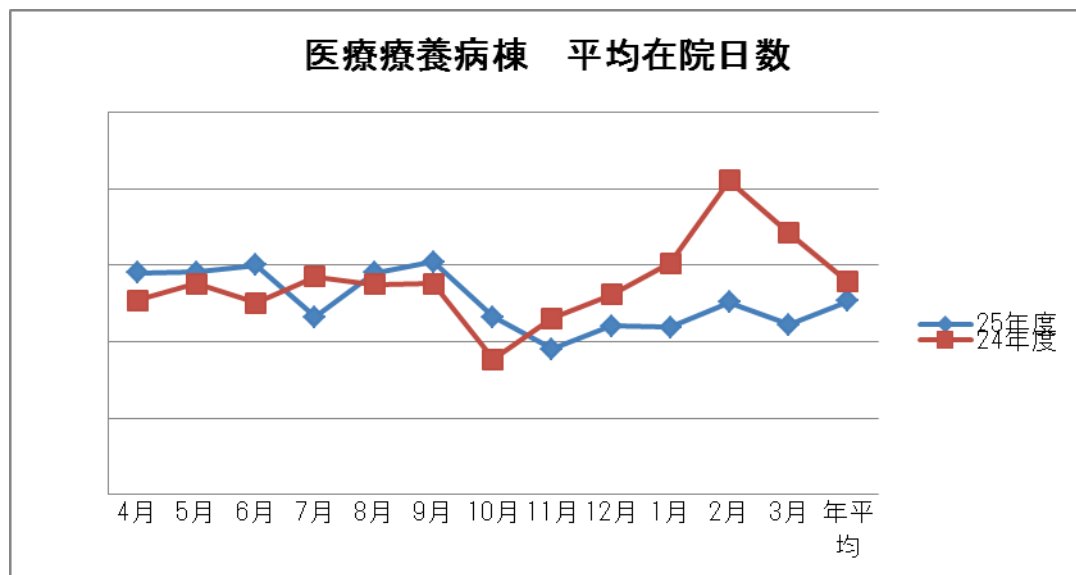


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
25年度	100.5%	100.3%	98.7%	100.3%	98.7%	99.8%	96.6%	100.1%	101.0%	100.3%	101.0%	100.8%	99.8%
24年度	100.3%	100.0%	101.3%	101.1%	99.4%	101.3%	98.0%	97.4%	98.3%	94.9%	99.8%	99.2%	99.2%

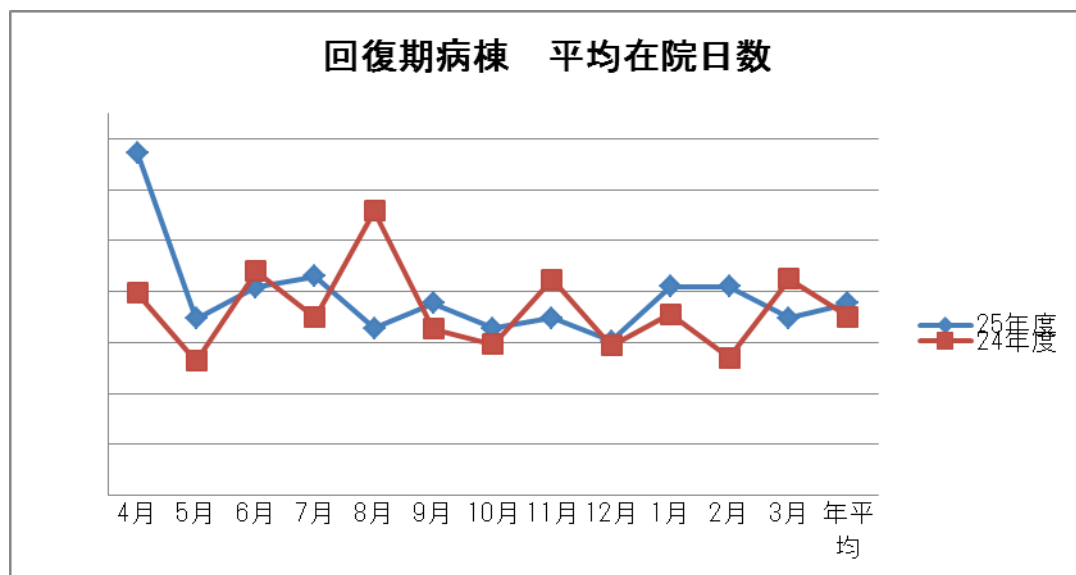
平均在院日数は、医療機関に入院した患者の1回当たりの平均的な入院日数を示すものです。病院の機能や患者の重症度などにより在院日数は変動するものであり、医療管理上のみならず病院経営の面からも重要な指標となっています。

当該期間内の在院患者延べ数

平均在院日数 = $\frac{\text{当該期間内の入院患者数} + \text{当該期間内の退院患者数}}{2}$



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
25年度	58.1	58.1	59.9	46.4	58.1	60.8	46.4	38.0	44.1	43.7	50.3	44.5	50.7
24年度	50.8	55.2	50.2	57.0	54.9	55.2	35.4	46.1	52.2	60.6	82.2	68.4	55.7

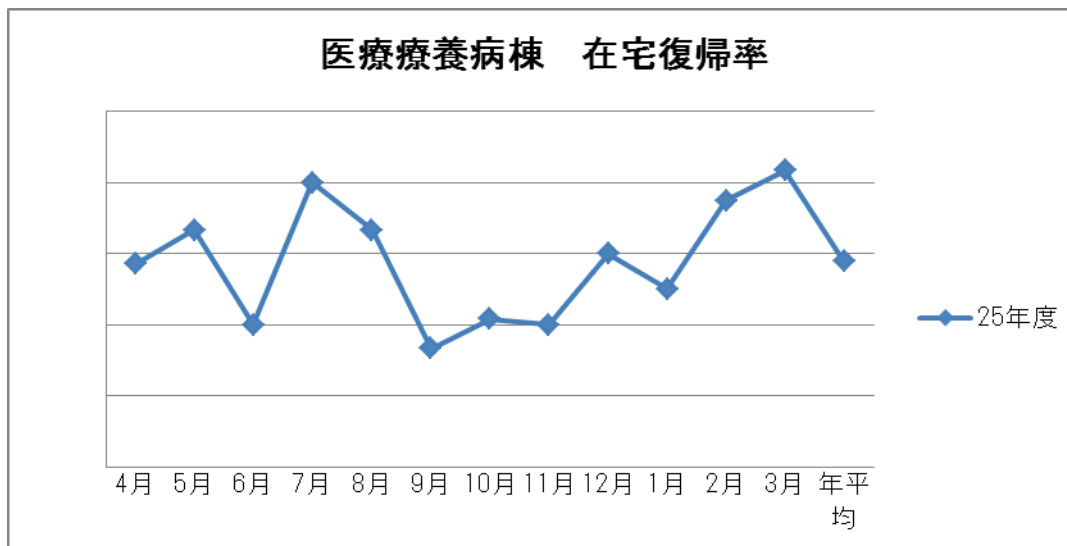


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
25年度	134.5	69.4	81.8	85.9	65.7	75.5	65.6	69.7	60.5	82.0	82.0	69.7	75.4
24年度	79.4	52.9	88.1	69.9	111.8	65.3	59.4	84.7	58.9	71.1	54.0	85.0	70.1

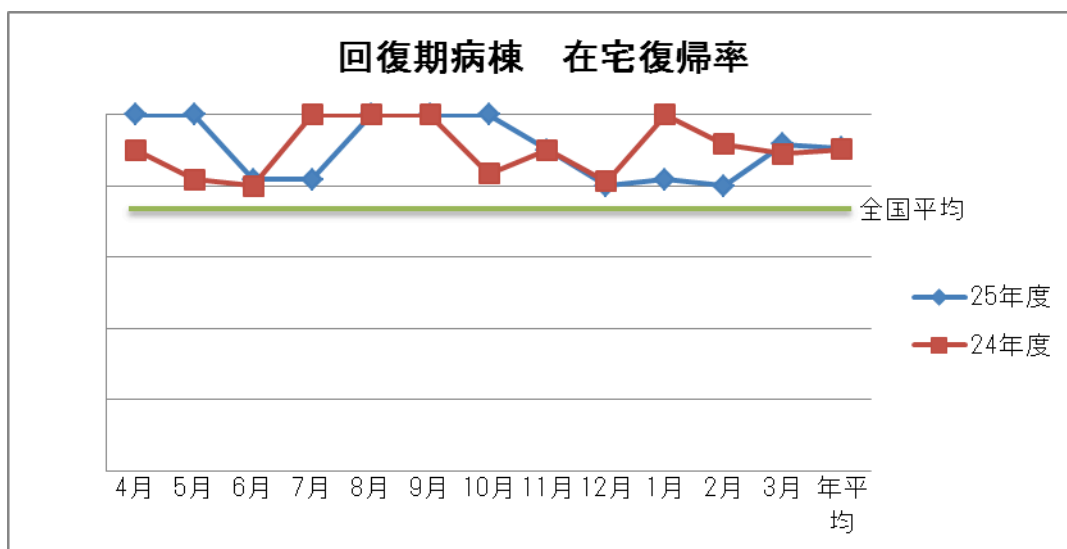
療養病棟における在宅復帰機能を評価する観点から、療養病棟入院基本料1を届け出ている病棟において、在宅復帰率が50%以上等の基準を満たす病棟に対する評価が新設されました。当院の医療療養病棟の在宅復帰率は57.8%で、この基準を満たしております。

回復期リハビリテーション病棟の在宅復帰率は、2年連続で90%を上回る成果をあげました。参考値として、全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会での平成25年2月の全国調査報告書1)では、在宅復帰率は71.7%と報告されています。

※1 参考文献 回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書、2013年2月 (社)回復期リハビリテーション病棟協会

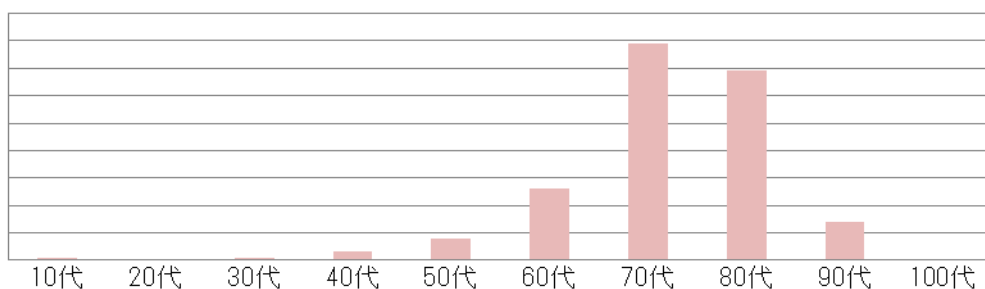


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
25年度	57.1%	66.7%	40.0%	80.0%	66.7%	33.3%	41.7%	40.0%	60.0%	50.0%	75.0%	83.3%	57.8%



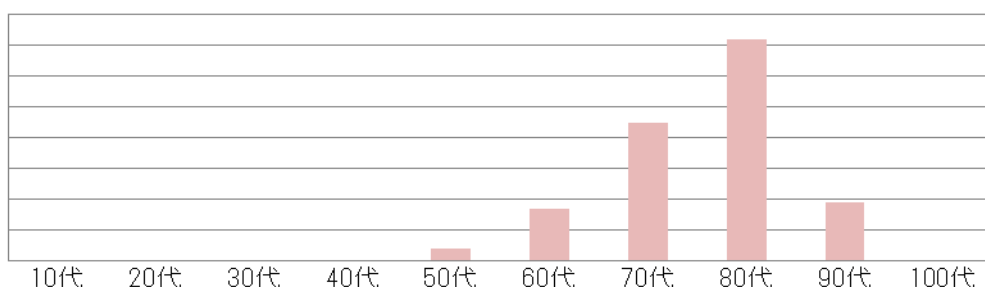
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
25年度	100.0%	100.0%	81.8%	81.8%	100.0%	100.0%	100.0%	90.0%	80.0%	81.8%	80.0%	91.7%	90.6%
24年度	90.0%	81.8%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	90.0%	81.3%	100.0%	91.7%	88.9%	90.2%

医療療養病棟 年代内訳（平成24年度）



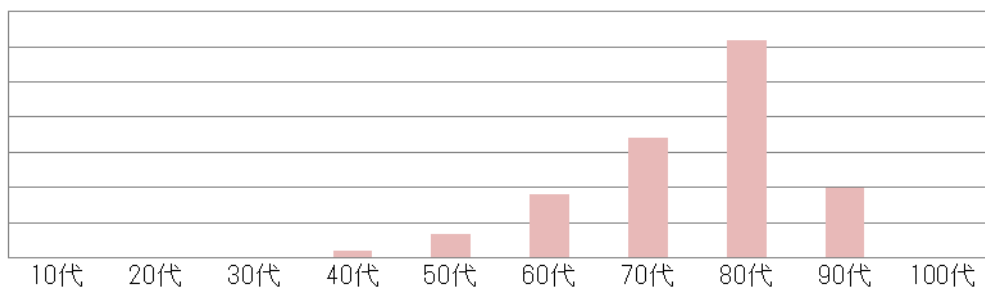
年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10代	1												1
20代													0
30代											1		1
40代		1							1	1			3
50代	2	1		2	1		1	1					8
60代	3	3	3	2		1	5	1	3	2	2	1	26
70代	7	8	5	7	7	10	12	6	8	4	1	4	79
80代	4	3	5	1	7	7	9	7	5	7	7	7	69
90代	1		5	2	2					3		1	14
100代													0
合計	18	16	18	14	17	18	27	15	17	17	11	13	201

医療療養病棟 年代内訳（平成23年度）



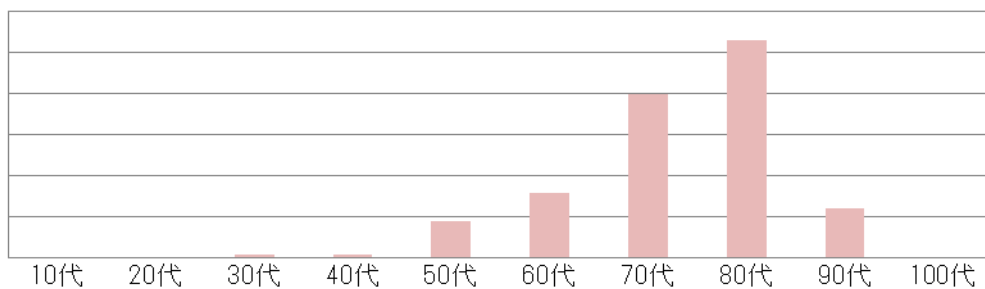
年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50代	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	4
60代	0	1	3	2	1	1	3	1	3	2	0	0	17
70代	4	3	4	3	4	4	6	3	2	4	6	2	45
80代	10	5	7	11	4	4	8	2	6	6	5	4	72
90代	2	4	1	0	0	0	1	1	2	2	4	2	19
100代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	13	15	16	9	9	19	7	13	15	15	9	157

回復期病棟 年代内訳（平成24年度）



年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10代													0
20代													0
30代													0
40代							2						2
50代	1			1	1		1	2			1		7
60代	2		1	4	1		1	1	3		2	3	18
70代	2	5	1		1	5	5	2	3	5	2	3	34
80代	1	9	4	6	4	7	5	2	8	6	8	2	62
90代	5	3	3	2	2	1	1	2			1		20
100代													0
合計	11	17	9	13	9	13	15	9	14	11	14	8	143

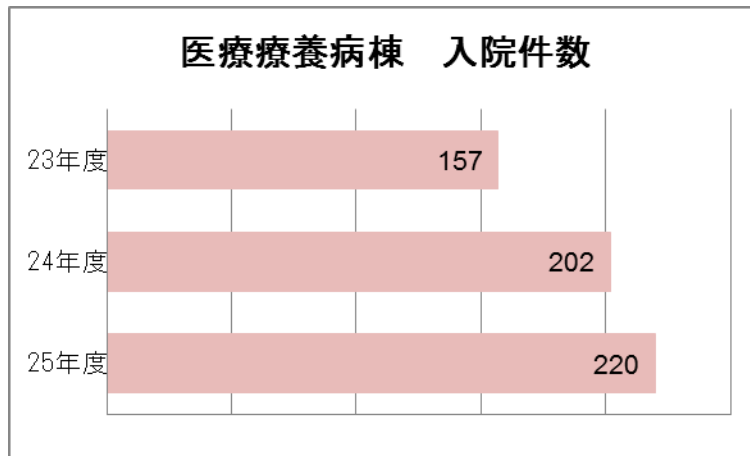
回復期病棟 年代内訳（平成23年度）



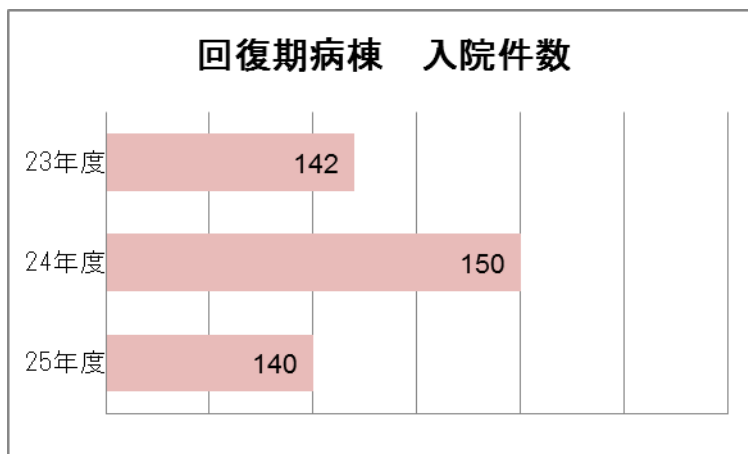
年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
40代	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
50代	0	2	0	2	0	1	1	1	0	1	0	1	9
60代	1	4	3	3	0	1	0	2	0	1	0	1	16
70代	5	3	5	3	2	3	4	1	5	3	3	3	40
80代	5	1	4	6	6	4	4	3	5	5	6	4	53
90代	1	0	2	0	2	2	2	1	0	0	1	1	12
100代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	10	14	14	10	11	12	8	10	10	10	11	132

6 入院件数

1年の間に新たに入院された件数で、病院のベッド数（医療療養病棟31床、回復期病棟29床）や入院日数、入院待ちの件数などで変動してきます。医療療養病棟では在院日数の短縮傾向に伴い、新たに入院される患者数が年々増加しています。



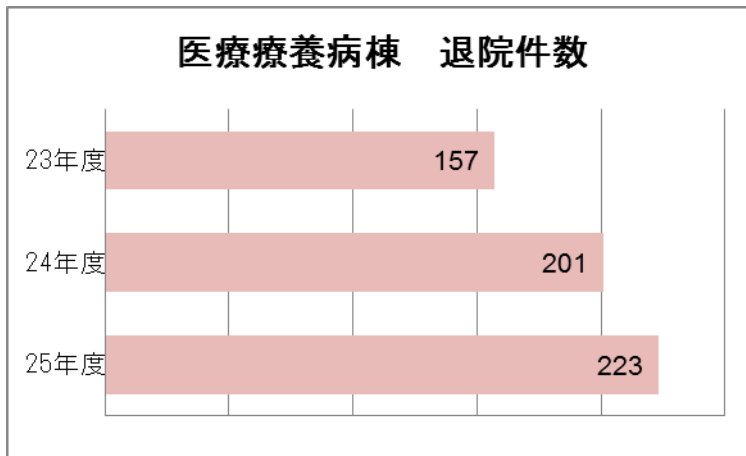
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	14	18	15	20	17	13	19	25	21	20	19	19	220
24年度	17	17	16	17	17	14	24	21	19	15	11	14	202
23年度	19	12	16	14	11	8	12	15	12	12	16	10	157



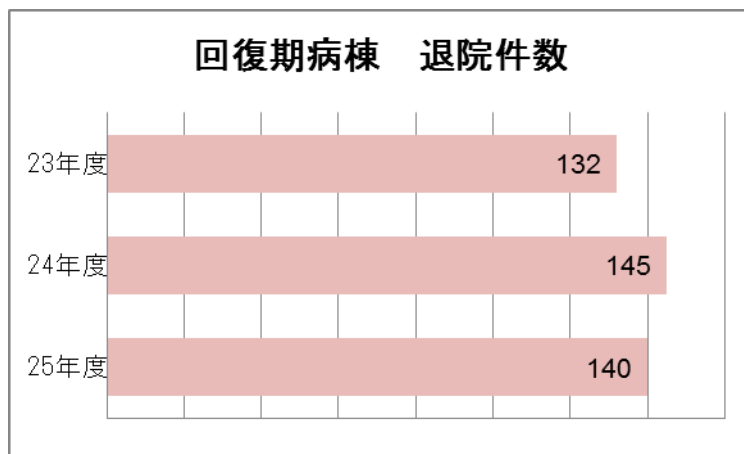
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	6	13	10	11	14	11	13	13	15	11	10	13	140
24年度	11	17	10	13	7	14	15	10	14	13	15	11	150
23年度	21	11	13	15	8	10	13	8	10	11	11	11	142

7 退院件数

1年の間に退院された件数で、病院のベッド数や入院日数などで変動してきます。医療療養病棟では在院日数の短縮傾向に伴い、退院件数が年々増加しています。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	17	14	16	20	15	17	21	22	21	23	15	22	223
24年度	18	16	18	14	17	18	27	15	17	17	11	13	201
23年度	17	13	15	16	9	9	19	7	13	15	15	9	157



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	7	13	11	10	13	12	13	12	15	11	10	13	140
24年度	11	17	9	13	9	13	15	9	14	11	14	10	145
23年度	12	10	14	14	10	11	12	8	10	10	10	11	132

10 褥瘡発生率

褥瘡（じょくそう）とは、栄養不良、全身状態の悪化、長時間の圧迫などにより皮膚が循環障害を起こし、いわゆる「床ずれ」となってしまったものをいい、これにより感染症を招いたり、身体の活力を低下させる原因となります。褥瘡発生率とは、入院後新たに褥瘡を患った患者さんの比率です。

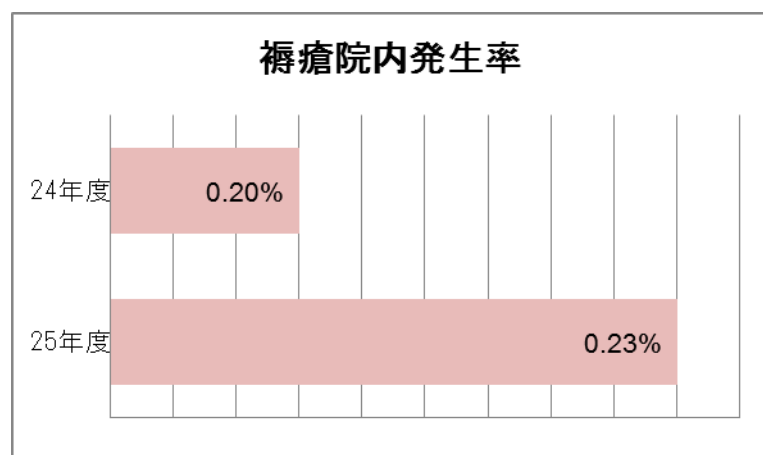
当院では、運動障害や神経障害を有する患者さんが多く、褥瘡発生のリスクは高まるため、ハイリスク患者に対して耐圧分散用具を使用し予防対策に努めております。

皮膚科医師、看護師、薬剤師、栄養士からなる褥瘡対策チーム回診を実施し、ハイリスク患者、褥瘡患者に対する予防、治療、栄養の評価を検討し、継続した治療・ケアが実践できるように取り組んでいます。

職員への教育は、褥瘡対策と知識・技術向上のため、褥瘡に関する勉強会を開催しています。

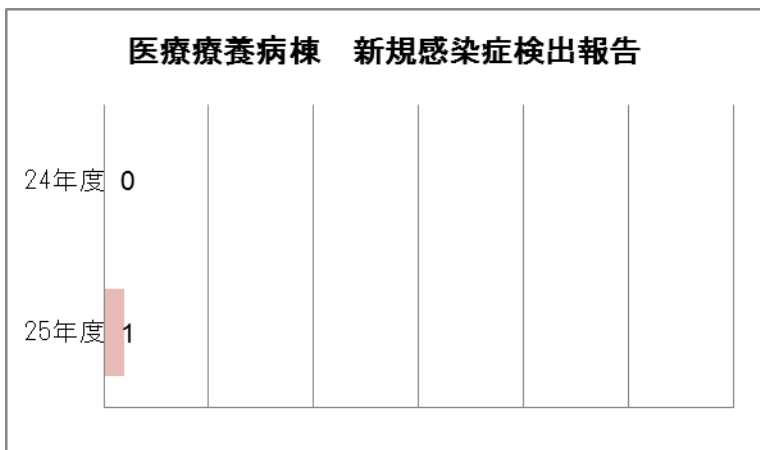
褥瘡保有患者数 - 入院時褥瘡保有患者数

褥瘡発生率 = $\frac{\text{褥瘡保有患者数} - \text{入院時褥瘡保有患者数}}{\text{入院患者数}}$



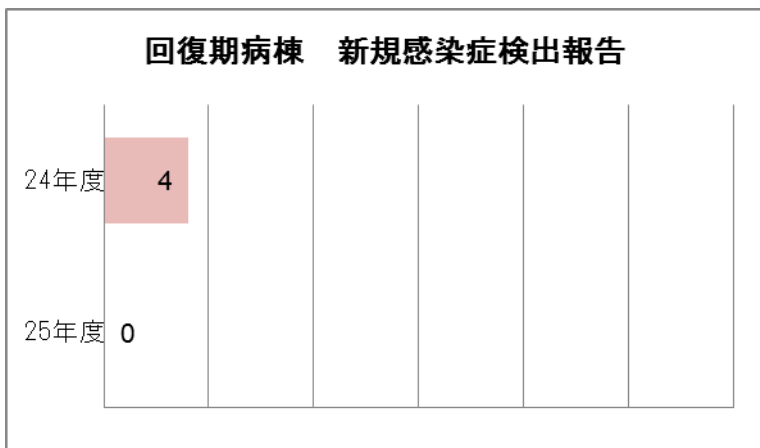
	合計
25年度	0.23%
24年度	0.20%

11 新規感染症検出報告



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	0	0	1※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
24年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

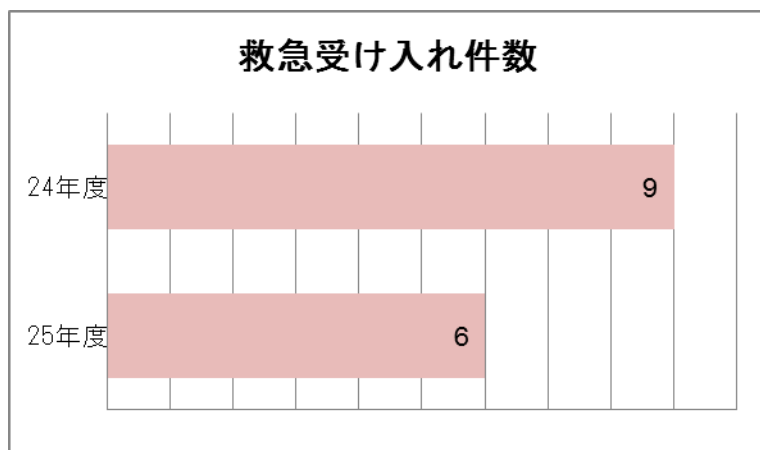
※MRS A



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24年度	0	0	0	0	0	0	0	0	4※	0	0	0	4

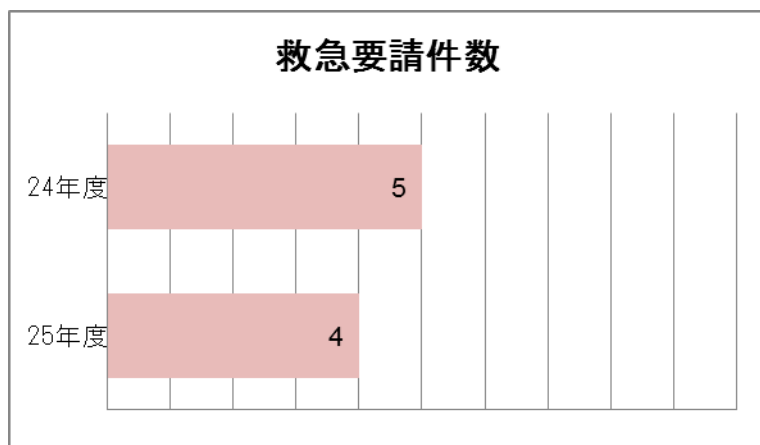
※ノロウイルス

12 救急受け入れ件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	2	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	6
24年度	0	0	0	0	4	0	1	1	1	0	0	2	9

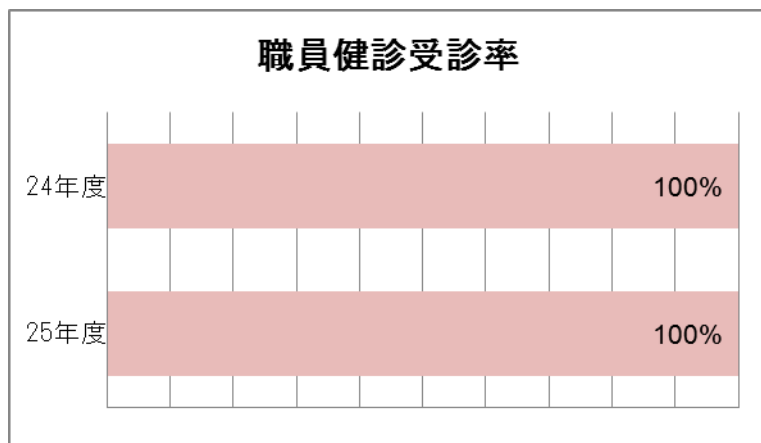
13 救急要請件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	4
24年度	0	0	0	0	2	0	1	0	1	1	0	0	5

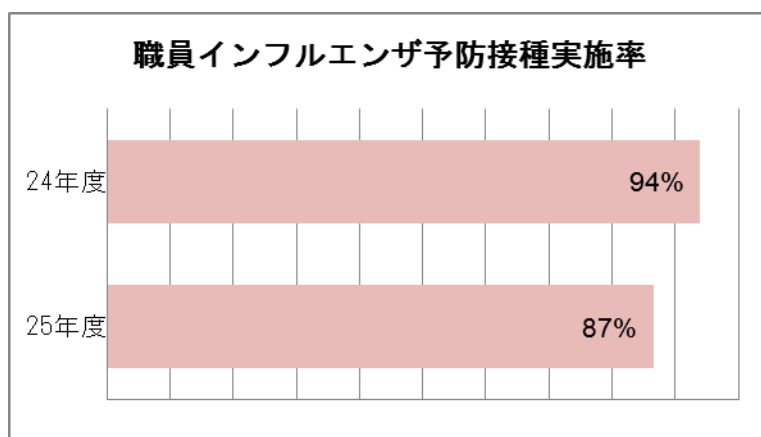
Ⅲ 予防医療

1 職員健診受診率



	対象者	受診者	受診率
25年度	89	89	100%
24年度	81	81	100%

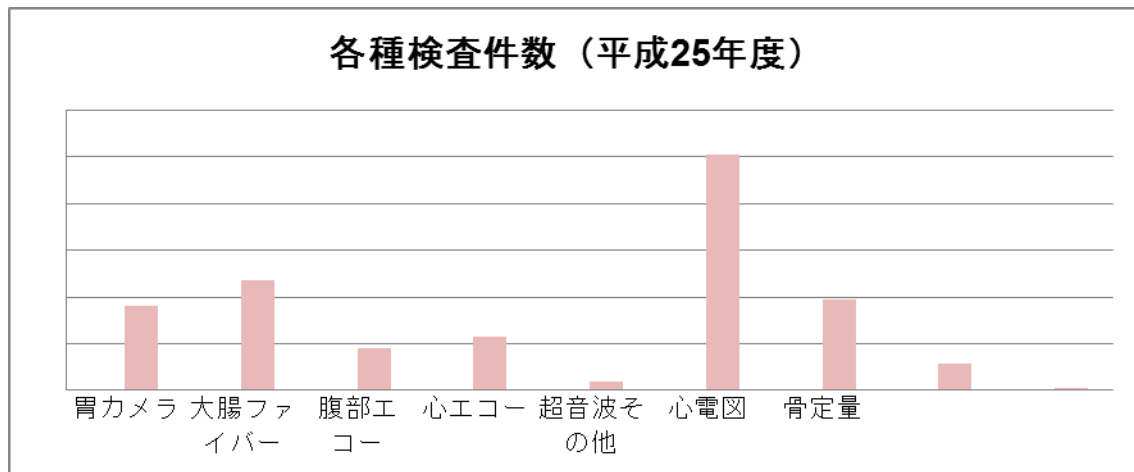
2 職員インフルエンザ予防接種率



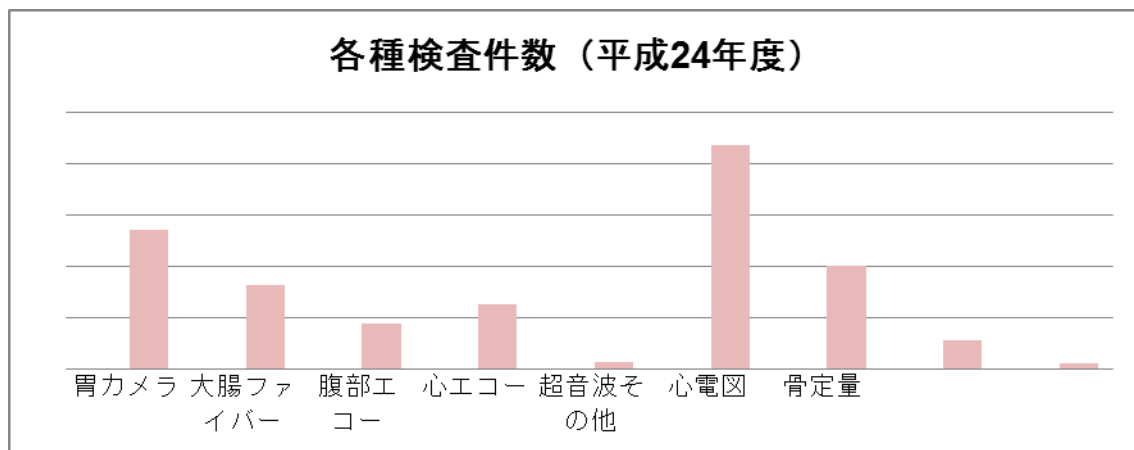
	対象者	受診者	受診率
25年度	89	77	87%
24年度	81	76	94%

IV 診療プロセス

1 各種検査件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃カメラ	9	10	6	7	4	8	11	5	8	7	7	8	90
大腸ファイバー	10	10	6	9	11	10	7	10	8	16	9	12	118
腹部エコー	4	3	6	5	6	0	5	4	5	1	4	2	45
心エコー	11	2	9	7	4	3	4	4	1	5	4	4	58
超音波その他	0	2	0	0	3	1	0	1	1	0	0	2	10
心電図	32	28	19	21	14	15	24	16	26	17	22	19	253
骨定量	9	5	3	7	8	9	2	10	11	9	20	4	97
CT	3	3	0	3	1	3	3	4	5	1	0	3	29
MRI	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
合計	78	63	50	59	51	49	57	54	65	56	66	54	702

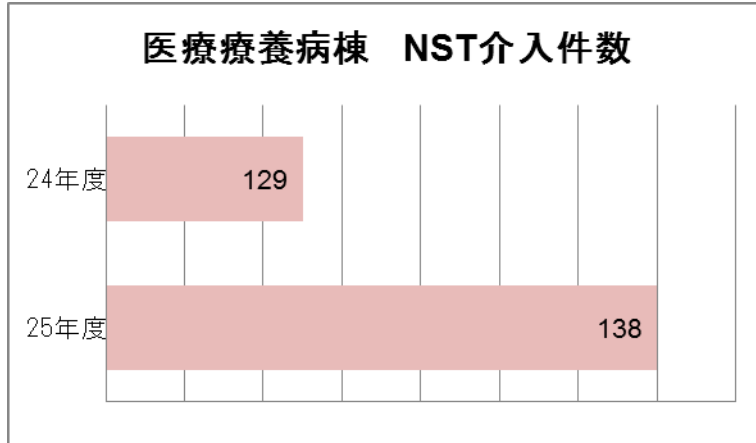


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃カメラ	15	4	19	14	6	7	14	8	14	13	9	12	135
大腸ファイバー	4	10	11	12	9	6	6	5	5	6	3	5	82
腹部エコー	0	0	2	1	9	4	4	8	4	3	4	5	44
心エコー	4	4	11	11	4	7	3	3	8	2	4	2	63
超音波その他	0	0	0	0	2	1	0	1	0	1	1	1	7
心電図	19	21	23	16	12	20	20	11	21	19	12	24	218
骨定量	6	5	7	47	6	7	3	4	7	2	1	6	101
CT	0	2	1	4	3	0	4	3	3	2	2	4	28
MRI	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	5

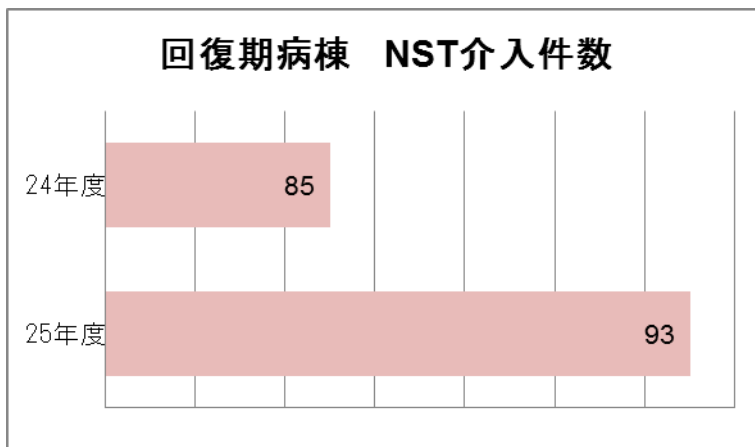
合計	49	46	74	105	51	52	55	43	63	48	37	60	683
----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

2 NST介入件数

NSTとは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師等の多くの医療従事者が共同して患者さんの栄養管理を行う栄養サポートチーム（Nutrition Support Team）の略称です。栄養サポートチームでは、栄養管理上問題のある患者さんの栄養状態を確認して、栄養障害の有無の評価、適切な栄養管理が実施されているかをチェックして、栄養状態の改善に向けての提言を行っています。

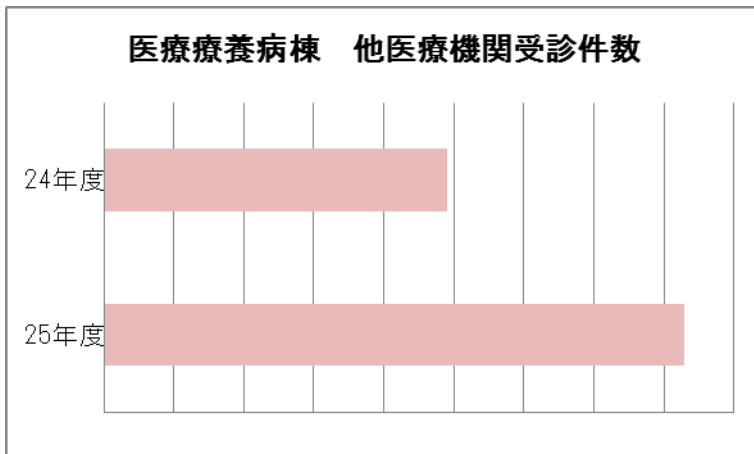


	合計
25年度	138
24年度	129

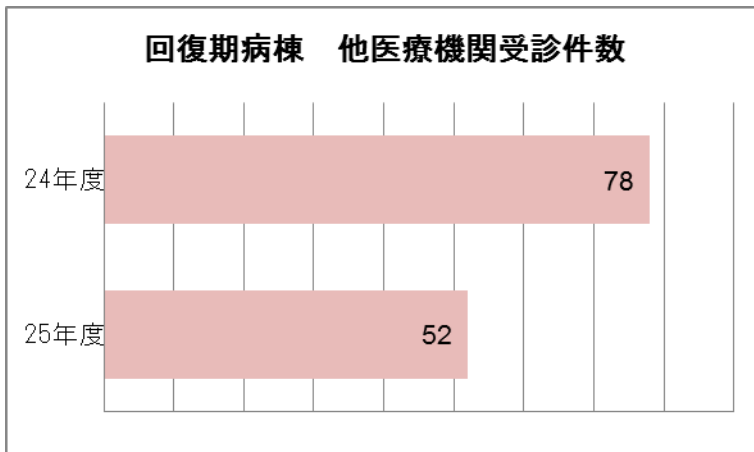


	合計
25年度	93
24年度	85

3 他医療機関診察依頼の割合

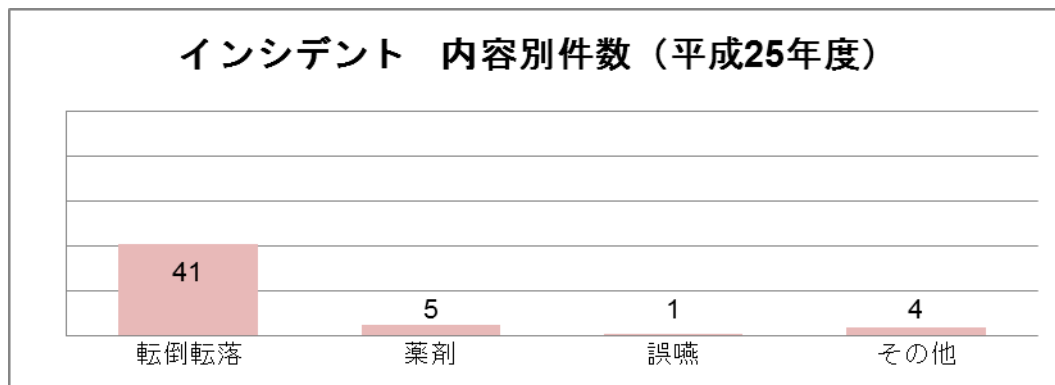


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	0	9	5	11	8	8	10	7	7	7	4	7	83
24年度	3	4	1	9	4	2	11	1	4	1	4	5	49



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	0	1	10	7	8	10	1	4	6	1	2	2	52
24年度	0	9	8	3	4	5	11	10	7	7	8	6	78

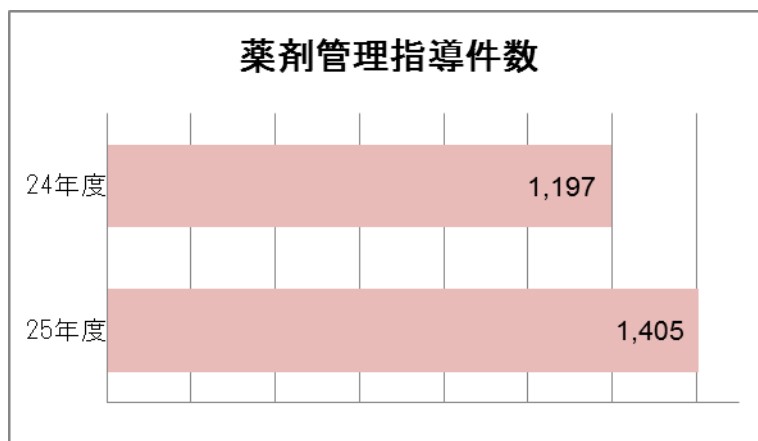
3 インシデント 内容別件数（平成25年度）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒転落	2	5	4	1	3	5	4	3	4	5	2	3	41
薬剤	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	5
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	4

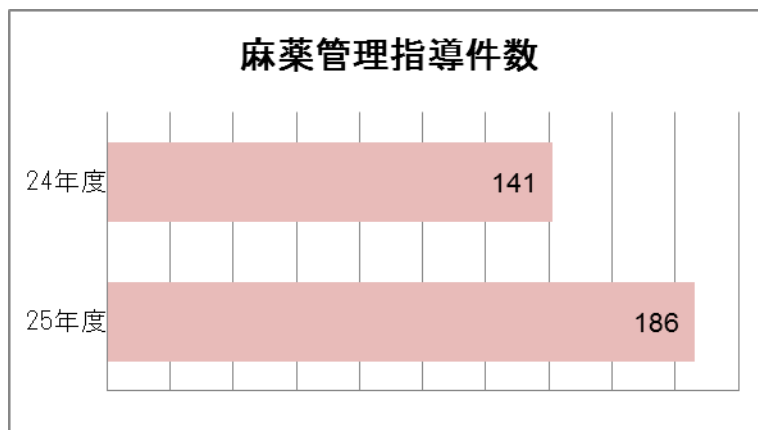
VI 薬剤

1 薬剤管理指導件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	113	111	124	112	135	108	109	115	113	123	117	125	1,405
24年度	91	106	86	110	110	86	88	85	112	117	110	96	1,197

2 麻薬管理指導件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	17	17	21	22	18	15	20	12	9	5	10	20	186
24年度	8	19	13	12	19	8	14	13	10	7	13	5	141

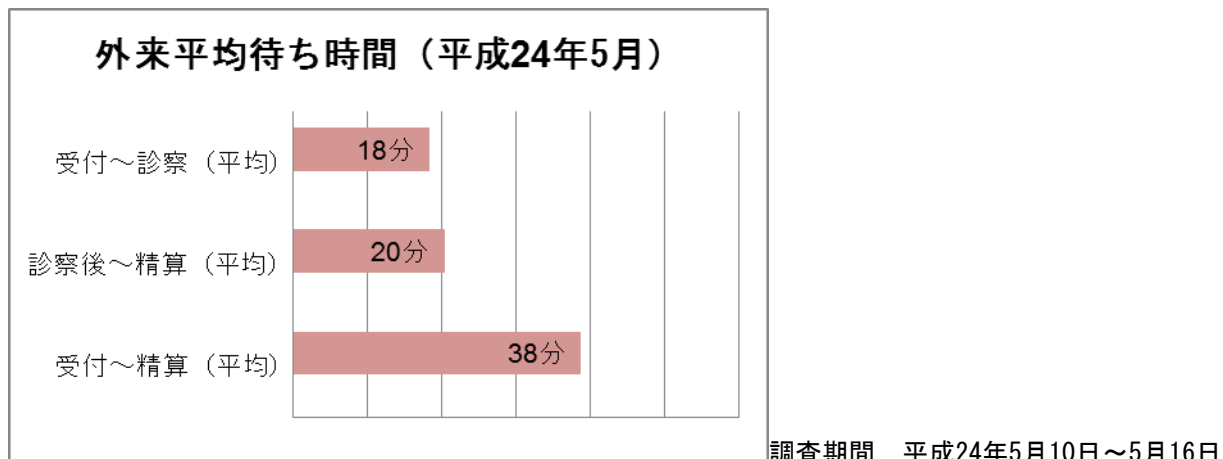
VII 経営・患者満足

1 看護師の退職率

準備中

2 外来待ち時間

外来診療の患者満足度を評価する指標の一つとして外来待ち時間が挙げられます。外来待ち時間が発生する原因としては様々な要因があります。予約制をさらに充実させ、待ち時間ゼロを目指すことが重要です。平成24年度に関しては、5月10日から5月16日までの期間で、計336名の患者様の外来待ち時間の調査を実施致しました。対象者は予約有りの方も予約の無しの方も含めた全ての患者様です。



	5/10午前	5/10午後	5/11午前	5/12午前	5/12午後	5/14午前	5/15午前	5/16午前	期間平均
受付～精算(平均)	54分	44分	40分	28分	36分	25分	41分	43分	38分
診察後～精算(平均)	23分	24分	19分	21分	23分	12分	20分	21分	20分
受付～診察(平均)	31分	21分	21分	7分	13分	12分	21分	21分	18分